

日本は憲法によって教育を受ける権利が国によって保障されており、小中学校9年間の義務教育は無償で受けられますが、開発途上国では貧困問題、戦争の影響などで十分な教育を受けられない子どもたちがたくさんいます。人権も学びです。人権と教育は密接な関係にあります。教育はすべてのSDGsの達成に不可欠だと言われています。それは人権に必ず繋がります。日本でも児童虐待や貧困などから、教育環境に恵まれていない子どもたちがいます。教育をサポートするのも人権のひとつです。私たち大人が社会ができることはまだまだあります。



SDGsの学びを子どもたちに

最近、山梨県内の学校で、SDGs(国連・持続可能な開発目標)を子ども達の学びに取り入れるところが徐々に増えています。ご承知かと思いますが、SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標で、2030年までの達成を目指しています。

SDGsの内容はどれも「人が生きること」と関連しており、「人権」が基盤にあります。“地球上の誰一人として取り残さない”という冒頭メッセージが、それを象徴しています。私たちがSDGsについて学ぶことは、いま世界が一丸となって解決・改善すべき重要課題を知る大切なきっかけになります。

例えば、「目標2-1」では「2030年までに飢えをなくし、貧しい人も、幼い子どもも、だれもが一年中安全で栄養のある食料を、十分に手に入れられるようにする」を掲げています。現在、世界の人口は約80億人ですが、飢えに苦しむ人の数は約8億人。世界中で約10人に1人の割合で、健康の維持に必要な食料が不足しています。

これは、世界全体で食べ物が足りないからではありません。なぜなら、毎年世界では、約27億トンの穀物が生産されています。もし、これが世界中の人に平等に分配されていれば、1人当たり年間337キログラム以上食べられることとなります。全ての人たちが十分に食べられるだけの食べ物は生産されているのです。一方、その約半分が家畜(牛、豚、鶏等)の飼料に、また約1割はバイオ燃料に使われています。こうした実態(食料分配の偏り等)を踏まえて、「なぜ世界から飢餓が無くならないのか」を学ぶこと。そして、私たちは今後どのような世の中を作っていくべきか、そのために自分は何ができるかを考え実行していくことが大切だと思います。

山梨県(知事政策局)では、昨年12月に「やまなしSDGs推進プラットフォーム」(県内金融機関、経済団体、県内大学、報道機関、県で構成)を設立しました。また、民間では「八ヶ岳SDGsスクール」や「やまなしSDGsカフェ」「SDGsネットワークやまなし」等の諸団体が立ち上がり、企業や行政、学校、市民団体などの枠を越えて、活発な交流や学び合い、協働プロジェクトなどに取り組んでいます。

本県に育つ子どもたちもSDGs等の学びを通じて、“身近な暮らしが、世界の課題と密接に結びついている”ことを理解してほしい。そして、その改善や解決に積極的に関わる人になってほしいと願っています。

日本ユニセフ協会
「持続可能な世界への第一歩
SDGs CLUB」



NPO 法人
八ヶ岳SDGsスクール



活動報告

- 人権啓発パネル展** 2月2日(木)～2月15日(木) 甲府市役所、甲府市南西公民館にて、人権啓発パネル展を開催。
- 人権啓発講演会** 2月8日(水) 甲府市役所庁舎にて、人権啓発講演会を開催。
- 人権移動教室** 1月30日(月) 甲斐市立竜王北小学校にて、1月31日(火) 甲斐市立敷島南小学校にて、人権移動教室を開催。

今後の予定

- 人権啓発講演会** 2月22日(水)：甲府地区広域行政事務組合消防本部
2月28日(火)：市民向け講演会「弱い立場の人に寄り添う生き方をめざして」



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：(株) 成心設備、西関東開発 (株)、(株) ウィルマート、(株) R&C、(株) フジコー、(株) 渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株) とちの木

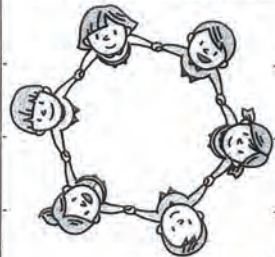
甲府市立南中学校 (男子)

人権移動教室 講師の杉藤先生のお話を聞いて

人権、何?。杉藤先生のお話を
聞く前は、どう思っているか、どうかなと
はかりませんでした。しかし杉藤先生



が人権についてくわしくお話ししてくれました。人権とは命を守る
権利と幸せになる権利が世界のたれにでもあるという事を教えてく
れました。ですが私が知らない所で本当は死にたくない。幸せになりたい
はずなのにそれかかないたくても、かなわない人がたくさんいるという
事を知り、今こうして字が書ける事を幸せなんだと感じました。また国
境をこえ世界のこまっている人たちを助けたいという事を
知り、たいなと思いました。一秒一秒はやく世界のたれが平和
に過ごせる未来になつてほしいと思いました。また人権は
一分一秒忘れてはならない大切な事なんだと学び



ました。私がこの先にまわっている人がいたら
まわらずに声をかけていき、この人のために
何かできるのかを考えて生きていき、みんな
が幸せになつてほしいです。

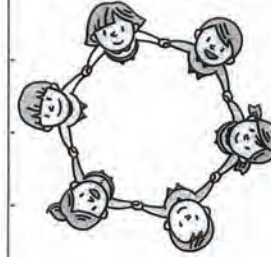
甲府市立南中学校 (女子)

人権移動教室 講師の杉藤先生のお話を聞いて

普段、生活の中で人権について深く考えること
なしてなかった。それはまとも、私が恵まれた環境で
何の不自由もなく生まれているからだと思った。



今日の公演会では「命の尊厳」について多く学んだ。命を、幸せを守るもの、それが
人権であると学んだ。映像資料で見たように、世界では苦しい思いや、辛い思いを
している人がたくさんいることを放っておいてはいけないなと思った。「1人1人が
幸せに生きることを守る。そして人権を尊重して生きていくことが、人としてとても
大切であると思った。誰一人として存在に意味のない人なんていないのだから、
一人でも多くの命を守っていくことこそ人間本来の生き方なのではないかと思う。
平和に慣れずまわっている私たちは、過去に戦争でたくさん犠牲が
あつたこと、今も苦しんでいる人がいることを忘れてはいけない。そして、この平和な
社会を誰かが支えてくれていることに感謝するのを忘れてはいけない。



恵まれた環境で生まれているからこそ、苦しんでいる人に手を
さしのべ、みんなが幸せな社会を構築していきたいと思います。
思いました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。